

hpf- news

人とブカを
つなぐ情報誌

HAMAMATSU
CULTURAL FOUNDATION

Vol.

27

2017 Winter

特集1

サーカスとオーケストラのコラボレーション「芸術の融合が織りなす美」
シルク・ドゥ・シノン 総合芸術監督
アレクサンダー・ストレルソフ インタビュー

特集2

史上最年少の浜松コンクール優勝から、
今そして10年後の自分へ
ピアニスト
チョ・ソンジン インタビュー

特集3

一世一代の「宮川彬良まつり」で
僕が伝えたいこと
作曲家・舞台音楽家
宮川彬良 インタビュー



公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

VOL.27 | 2017 Winter

contents

- 04  [特集1]
シルク・ドゥラ・シンフォニー 総合芸術監督
アレクサンダー・ストレルソフ インタビュー
- 08  [特集2]
ピアニスト チョ・ソンジョン
インタビュー
- 12  [特集3]
作曲家・舞台音楽家 宮川彬良
インタビュー
- 16  [のんびり、ゆっくり、みゅーじあむ vol.16]
民族楽器の今
- 18  オークラアクトシティホテル浜松
ホテルクラウンパレス浜松
- 20  [コンサートにお出掛け、その前に…]
ヤマハミュージックリテイリング浜松店
- 22  [楽器職人のいる街 vol.8]
(株)フルートマスターズ 野島 洋一さん
- 24  [こだわりの食とともにコンサートの余韻を楽しむ。]
日本料理 日の出
パールイタリアーノ 12カ月
- 26  HCF Event Schedule
- 31  [お知らせ]
浜松版アーツカウンシルが始まります

はじまりはいつも、
ヒトツの感動から。

音の持つ可能性とは。

12月初旬、サウンドデザインフェスティバルが開催される。

未知の領域が広いサウンドデザインの定義は容易ではないが、「音の持つ可能性を追求し、その力を各方面で活用していく取り組みのこと」とされている。

そして、音の力をもって、都市が抱える問題を解決したり、生活の質をさらに向上させたり、といった新たな価値観を創造していくことを目指している。

例えば、精神状態をコントロールする音や、電気自動車の安全性を確保する疑似的な機械音、人の創造性を刺激する不思議な音の仕組みなど。

音の持つ力が今後の生活にどのように関わっていくのかを、このフェスティバルを通して予測できるかもしれない。

私たち浜松市文化振興財団は、音の持つ可能性を皆様にお届けしてまいります。

すべてのはじまりは、そう、ヒトツの感動から。

公益財団法人
浜松市文化振興財団
Hamamatsu Cultural Foundation

今月の表紙



専門学校ネサンス・デザイン・アカデミー
広告・写真・Webデザイン科1年
藤田 ゆき乃(ふじた ゆきの)

作品名「しみじみと冬」

浜松の冬を表現するために浜松市動物園にいるホッキョクグマの「モモ」を主役にした。白銀の世界を知らない彼女が、想像する風景を背景に描きました。また動物園でみんなの人気者であるモモにマフラーを着せることで、かわいらしさ、親しみやすさを表現しました。これから来る冬を楽しみに感じてくれたら嬉しいです。

アレクサンダー・ストレルソフ

シルク・ドゥーラ・シンフォニー 総合芸術監督



世界中で大きな話題を呼んだ「シルク・ドゥーラ・シンフォニー」。オーケストラの演奏をバックにサーカスのアクロパティックな演技が展開されるエンターテインメントです。日本初上陸となるこの公演について、総合芸術監督アレクサンダー・ストレルソフさんにお聞きました。

取材協力 / (株) テンポ・プリモ 文 / (公財) 浜松市文化振興財団



■最初に、設立の経緯を教えてください。

シルク・ドゥーラ・シンフォニーは、「サーカスとシンフォニーの融合」という全く新しいコンセプトのもと、2006年に結成しました。私自身、エアリアリストとして世界で活動しています。

1998年、シンシナティ・ポップス・オーケストラとの共演の様子がTVで公開され、エアリアルの演技が「空中に愛が舞う」と絶賛されました。これがきっかけとなり「サーカスの演技×オーケストラ」という核となる部分が確立され、その後2005年までに現在のようなスタイルを作り上げたのです。そして翌年、オリンピックの元代表選手や世界選手権ゴールドメダリスト、世界チャンピオンなど、選抜されたエリート集団を加えてシルク・ドゥーラ・シンフォニーを結成し、同時にその名と独自のスタイルがアメリカを中心に広く知られるようになりました。

■今までにない発想が絶賛を博したのですね。

当時は「サーカスの様々な演技をクラシック名曲のオーケストラ生演奏で楽しむ」という発想自体が新しく、このアイデアが功を奏して結成からわずか

の間にアメリカ国内で大ヒット。各パフォーマーの演技の完成度と、芸術としての美しさを初めて見た時は「これはいける」と確信しました。

■観客の反応はいかがでしたか？

子供からご年配の大人まで楽しめる内容なので、お客様の年齢層はバラエティ豊かです。結成当時からファンも多くて、そこから子や孫へと代々ファンが受け継がれていく感じです。お客様からは、「オーケストラの生演奏を聴くのは初めて」「クラシックファンだが、クラシックの名曲に合わせて楽しい演技が観られるなんてお得感満載」など、パフォーマンスを観たい方、オーケストラファンの方、双方からの声





をたくさん聞いています。舞台を作る私たちも、この演技にはどの曲が合うか、という点を注意深く吟味しながら選曲しています。「コラボレーション=芸術の融合が織りなす美」は、どの公演でも鳴りやまない拍手をいただき、お客様の感動を深く感じ取ることができています。

■今回が初めての日本公演ですね。

日本は豊かな文化を育み、これまでの長い年月の中で、素晴らしい芸術を世に送り出してきた国だと思っています。皆様の心の温かさやホスピタリティ、感謝の気持ちの深さも、日本で生まれた芸術作品の影響が大きいと思います。そんな日本で、シルク・ドゥラ・シンフォニーの初来日公演が実現することをとても光栄に思います。日本中の美しいホールで演技ができることを心から嬉しく思います。

アレクサンダー・ストレルソフ Alexander Streltsov

エアリアルリスト。世界的振付師パヴェル・ブランに学びブロードウェイのガーシュウィン劇場等で12歳から活動を始める。この年にパリで行われた国際大会で金メダルを獲得。力強さと芸術的な表現、巧みなコンビネーションは他の追随を全く許さないと高く評価されている。ロシアでは「サーシャ」という名で広く知られ、プーチンやエリツィンなど大統領に演技を披露したほか、世界中の舞台に出演して名声を博している。また、米ABCのドキュメンタリーやアメリカ公共放送PBSのニュースにも取り上げられるなど注目を集めている。



■日本で楽しみにしている事はありますか？

様々な日本文化に触れられることが一番の楽しみです。古典や現代アート、芸術、そして私の大好きな日本食も忘れてはなりません！

■素晴らしいパフォーマンスグループとオーケストラ。どちらも必要不可欠な存在なのですね。

シルク・ドゥラ・シンフォニーのアーティストたちは、皆が特別に選ばれた、優秀なメンバー。彼らはそれぞれ自分の演技に誇りを持ち、楽しく、そして真摯に向き合っています。『私たちの演技は、オーケストラの生演奏とともに完成します。逆を言えば、オーケストラがなければ成立しません。オーケストラの美しい旋律が流れると、自分の限界を超えた演技をお見せできるのです』とメンバーは皆、語っています。今回、東欧最高峰のオーケストラであるキエフ国立フィルハーモニー交響楽団との共演も素晴らしいものになると確信しています。

■最後にお客様へメッセージを。

今回のツアーは日本各地を約1ヶ月かけて回ります。行く先々で違った表情の風景や雰囲気などを感じられること、また会場では、華麗で幻想的な一体感のあるステージをお客様と創り上げられることを楽しみにしています。皆さん、アクトシティ浜松でお会いしましょう！

世界最高のパフォーマンス集団

シルク・ドゥラ・シンフォニー



1 クリスティン・ヴァン・ロー
マッカートニー、スピニアーズほか数々のビッグアーティストと共演。

[エアリアル]天井から吊るされた布、フープやロープを使い、自身の体に巻き付けながらに自由な空中演技。

2 エレーナ・ツアルコヴァ
ロシア政府からスポーツマスターの称号を与えられた体操のスペシャリスト。

[コントーション]人間の柔軟性を表現したパフォーマンス。柔軟な身体を自由自在に曲げる演技を細いスタンド上などで行う。海外では、スポーツのハーフタイムなどで究極の柔軟性と美を表現。

3 サーシャ・ビヴァラル
シルクドソレイユでも大活躍。国際選手権で優勝を繰り返す世界一のコントーションリスト。

[コントーション]人間の柔軟性を表現したパフォーマンス。柔軟な身体を自由自在に曲げる演技を細いスタンド上などで行う。海外では、スポーツのハーフタイムなどで究極の柔軟性と美を表現。

4 ヴラディミール・ツアルコフ
突っ込ませる道化師。世界有数、魔法のようなジャグリングは観客を釘付けにする。

[パントマイム&ジャグリング]実際には存在しないモノをあたかもあるかのように身振り手振りで行うパフォーマンス。また、ボールや輪、スティックなどを空中に投げたり取りたりして物が浮遊する空間を作り出す。愛好者も多く国際大会も行われる人気演目。

5 ヴィタリー・プーザ
体操ロシア・ナショナルチームのエリート。幅広い技を持つマルチプレイヤー。

[スピニングキューブ他]大きな立体状のキューブをスピーディに回す演技。躍動感とスピード感を同時に体験できるエキサイティングなパフォーマンス。

6 ヴィタリー・プリコドゥコ & パヴェル・コルシュノフ
ワールドチャンピオンに2度輝いた世界最高のデュオ。

[パランス・アクト]演技者の筋力を駆使した芸術性の高い演技。力強さやスローモーションを用い、数々のポーズを決める。一流の芸術家による彫刻作品や絵画のように、人々の目を釘付けにする。

シルク・ドゥラ・シンフォニー

2018年1月19日(金) 19:00開演 ●アクトシティ浜松 大ホール
●全席指定:S席/A席【完売】 B席5,500円 学生席1,000円(24歳以下・当日指定) ※未就学児の入場不可
●曲目:チャイコフスキー/白鳥の湖 ビゼー/カルメン組曲 ハチャトゥリアン/「仮面舞踏会」組曲
オッフェンバック/天国と地獄 ほか
●演奏:キエフ国立フィルハーモニー交響楽団 ●指揮:ニコライ・ジャジュラ ●文化事業課:053-451-1114



ピアニスト
チョ・ソンジン

インタビュー

SEONGJIN CHO
 INTERVIEW

5月18日 (株)ユニバーサルミュージックにて 文/劉優華 撮影/(公財)浜松市文化振興財団

2009年浜松国際ピアノコンクールで史上最年少の15歳で優勝、そして2015年のショパン国際ピアノコンクールを制したチョ・ソンジンさんが浜松に戻ってきます！

今や、世界の音楽界で最も注目されるピアニストの一人となったチョさんは、1994年韓国生まれの23歳。浜松での優勝を機に、日本ではすでに知られた存在でしたが、世界最高峰といわれるショパンコンクールでの優勝で、現在は年間約100回ものコンサートを行うため、世界中を飛び回る生活を送っているそう。多忙を極める中、日々進化し続けるチョさんにお話をうかがいました。

■浜松での一番の思い出を教えてください。

日本で初めて訪れた場所であると共に、アカデミーやコンクールにも参加した思い出の地。私にとって浜松は、とても縁の深い特別な街です。

■浜松国際ピアノコンクールを受けた時と、ショパンコンクールの時では、雰囲気や臨む気持ちなど、どのような違いがありましたか？

浜コンに出場した時はまだ15歳で、コンクールというものがどんなものか、何もわかっていなかったの、ある意味気が楽でした。大人になって受けたショパンコンクールの方が断然緊張しましたね。日本はホールや周辺施設、練習環境も素晴らしいですし、ボランティアの皆さんも大変親切で、コンクールの期間中とても快適に過ごすことができました。

■今回演奏されるプログラムは、ベートーヴェン、ドビュッシー、ショパンの中でも有名な曲ばかりが並びます。聴きどころについて教えてください。

ベートーヴェンは、子供の頃から常に勉強したいと思ってきた作曲家で、これから長い人生をかけて取り組んでいきたいという気持ちから、今の時点で一度弾いておきたいと思いました。「悲愴」は昔から弾いてきた曲で、30番は今回初めて挑戦しますが、後期3大ソナタには強い憧れがあり、いつか必ず弾いてみたくて…。何となく、この2曲の組み合わせが良さそうだと思って選んだだけで、特に深い意図はありません(笑)。

ドビュッシーの「映像」は、11月22日にリリースされたニューアルバムにも収録されているお気に入りの曲。ショパンのソナタ第3番も初めて披露する曲ですが、ショパンのレパートリーについては今後とも増やしていく予定です。



第7回浜松国際ピアノコンクール本選

■それぞれの曲について、他のピアニストの録音は聴いていますか？

ベートーヴェンのソナタは昔から多くの録音を聴いてきましたが、アルトゥール・シュナーベルの解釈が好きですね。ラドゥ・ルプーの「悲愴」や30番もすごく良いです。

ドビュッシーの「映像」はアルトゥーロ・ベネデッティ・ミケランジェリの演奏が一番好きです。ショパンのソナタ第3番は、若い人も上手な人が多いですよ。ショパンコンクールで一緒だったケイト・リウや、グリゴリー・ソコロフの演奏からもさまざまなインスピレーションを得ました。

■浜コンで優勝された時からこれまでに、環境の変化や心理的な変化はありましたか？

一番の違いは、やはりショパンコンクールで優勝したことで圧倒的に忙しくなったことでしょうか。8年前は韓国で暮らしていましたが、その後フランスに留学し、生活環境は大きく変わりました。15歳の時の記憶はあいまいですが、内面的な部分ではさほど変わったことはないと思います。当時から新しい曲を覚えることや音楽を聴くことが好きでしたし、ラドゥ・ルプーを好きだったことも今と一緒ですから。



どんなピアニストになっていると思いますか？

10年前は中学生で、ピアニストとしてのキャリアをどのように積んでいくか、まだよくわかっていませんでした。10年後も今のように演奏し続けていられたらうれしいです。

■世界各国のホールで演奏されていますが、ピアノを選ぶ時はどんなピアノを好んで選ぶのですか？

ホールにおけるピアノ選び、実はすごく簡単です。というのも、素晴らしいピアノが2台あるということは極めて珍しいので。カーネギーホールではかなりタイプの違うピアノが2台あったので難しかったですが…。そんな時は、ホールの響きによって選び方を変えています。大きいホールであれば音の出るほうを、小さいホールであれば繊細な音の出るピアノを選びます。



第7回浜松コンクール表彰式 (左)中村敏子審査委員長、鈴木康友浜松市長

■2018年には第10回コンクールが開催されます。コンテストたちに何かアドバイスをお願いします。

浜松はうなぎが美味しいので、ぜひ食べてみてください(笑)！

■これまでの演奏人生の中で、一番記憶に残っているコンサートは？

多くて選びきれませんが、2005年3月にソウルであった人生初のリサイタルでしょうか。同じくソウルで昨年開かれた、ショパンコンクールのガラコンサートも印象に残っています。

■10年前に思い描いていた未来と、現在の自分を比べてどう思いますか？また、10年後ご自身は

もともと1台しかない(選ぶことができない)ホールも多いので、そういう時は運命だと思ってそのピアノと仲良くするしかないですね(笑)。

■人生観についても伺いたいのですが、チョさんは運命論者ですか？それとも現実主義者ですか？

半々だと思います。例えば、私がショパンコンクールに出たのは自分自身の選択ですが、そこで優勝するというは自分で選べることはありません。とはいえ、人生において運や偶然というものはあるように思います。

■ピアニストとしてではなく、ひとりの人間としてどのように生きて行きたいと思っていますか？

難しい質問ですね！私も人間なのでいろんな欲はありますが、自分がやりたいことをできないのは仕方ないとしても、自分がやりたくないことはやらなくて済む人生を送りたいです(笑)。

■最後に、浜松のファンにひとことお願いします。

浜松では、いつも幸せな気持ちで演奏してきました

NEW!

11月、腱鞘炎で演奏をキャンセルしたラン・ランの代役として、世界最高峰のオーケストラであるベルリン・フィルとの共演が実現したチョさん。公演終了後、急ぎよ電話でお伺いしました。

ベルリン・フィルとの共演は、ピアニストを目指すようになってからずっと描き続けてきた夢だったので、今回抜擢していただいたことは本当に光栄で、信じられないような出来事でした。ベルリン、フランクフルト、香港、ソウルの4都市でラヴェルのピアノ協奏曲を共演しましたが、指揮者のサイモン・ラトルさんをはじめ、オーケストラの皆さんが温かく迎えてくださったおかげで、素晴らしい舞台に立つことができました。この共演のために尽力してくださったすべての皆様に、感謝の気持ちでいっぱいです。いつの日かまた、共演者として指名してもらえることを目標に、これからも邁進していきたいです。



©Harald Hoffmann DG

チョ・ソンジン
Seong - Jin CHO

2015年10月第17回ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝、ポロネズ賞も同時受賞し、国際的な脚光を浴びる。卓越したテクニクと透明で美しい音色、身体中から溢れ出る音楽性が聴く人の心を打ち、若き世代で最も卓越したピアニストの一人として、高く評価されている。1994年ソウル生まれ。2009年浜松国際ピアノ・コンクールでは15歳で最年少優勝を果たし、2011年チャイコフスキー及び2014年ルービンシュタイン国際ピアノ・コンクールで第3位受賞。これまでに、チョン・ミョンファン、マゼール、アシュケナージなどの著名指揮者の指揮の下、ロイヤル・コンセルトヘボウ管、フランス国立放送フィルなどの世界一流のオーケストラと共演。2016/2017年シーズンには、カーネギー・ホール、ロイヤル・コンセルトヘボウ等でのリサイタルデビューを果たした。ベルリン在住。2018年の没後100年を記念したドビュッシーのCDが11月に発売されたばかり。

ACTIVA Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2017 ~世界の名演奏家たち~Vol.5

チョ・ソンジン(ピアノ)

2018年1月23日(火) 19:00開演 **チケット好評発売中!**

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定: S席5,000円 A席4,000円 学生席1,000円(24歳以下・当日指定)

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第8番 ハ短調 Op.13「悲愴」
 ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ 第30番 ホ長調 Op.109
 ドビュッシー:「映像」第2集
 ショパン:ピアノ・ソナタ 第3番 口短調 Op.58

- 特別協賛:オリックス グループ
- 文化事業課:053-451-1114





作曲家・舞台音楽家

宮川彬良

AKIRA MIYAGAWA
インタビュー

2015年、歌劇「ブラック・ジャック」を制作・指揮、アクトシティポップスオーケストラの指揮など浜松とのご縁も深い宮川彬良さんが、ご自身の名前を冠した「宮川彬良まつり」と題した音楽会「宮川彬良まつり」を催します。果たしてどんな「まつり」なのか…？少年時代の思い出から舞台音楽家としての現在について伺いました。

10月3日 宮川彬良さんご自宅にて 文・撮影／(公財)浜松市文化振興財団



■舞台音楽家になったきっかけ

幼少の頃は、父（作曲家・故 宮川泰氏）が忙しくテレビに出ていて、指揮してピアノを弾いて楽しそうだなと思っていました。僕の通った中学校は年に1回演劇祭のあるユニークなところで、先生が選んだ台本で、生徒が役者、音響、照明、衣装係なんかのすべてをやるんです。当然音響係になった僕は、台本をもらった瞬間に音楽が聞こえてきたことにびっくりしました。当時ロック少年だったので、「このセリフからリック・ウェイクマンのLPのB面3曲目のこのフレーズだ」とか「最後のシーンで暗転したら、この曲のドラムソロから入って…」とか。セリフに合わせて作曲したりもしました。僕がピアノ、友達がオカリナを吹いて、音楽室のテープレコーダーを家に運んで録音・編集して。本番では体育館でお客様の気配を感じながらのオペレーションです。

■ロックバンドにもあこがれた

「俺は舞台の音楽を作る人になる！」本当に思ったのがこの時。だってもうやってるんだから。「ゲルピンズ」ってバンドを始めた中1の時も、曲の前に書いたのがまず台本。台本書いてセリフ言ってレコード掛けて、途中で唯一のレパートリーを演奏して、みたいな（笑）。遊びながら作ったものが、実はミュージカルでした。一番やりたかったのはロックバンド。映画音楽やCM音楽への憧れもありましたが舞台音楽が一番地味だけど、目の前にあってもうやってるし、誰も並んでない。じゃあ、ちゃんと勉強してパーンスタインの「ウエストサイド・ストーリー」みたいな曲を書けぞ、という夢が自然に定まっていっただけです。

■いろんな世界観に触れて今がある

20歳くらいの頃は、例えばバレエ台本みたいなものをもらったとすんでしよう。イメージの湧くままに



アクトシティポップスオーケストラ 2014.2.9

ピアノの上に指を置いていくと、もう自然と曲になっちゃう。ああ、こんなもんなんだ…っていう感じですよ。まあ若いからかな、と。もちろんけっこう勉強もしましたが、いつの間にか大人になって、気が付いたら30年くらい経ってたような（笑）。確かに作曲を生業としているけれど、世界を旅したり滝に打たれたりして曲想を練るとかとかいう発想は全くないんです。哲学も美学も家の中で充分。どこにだって「いのち」の不思議はあるわけですから。全て仕事の中でいろんな世界観を見てきたから、ジャズだとかだからクラシックならこうやれるんじゃないとか、アイデアがいっぱいあります。毛嫌いできたオペラも、やってみたら「まさに僕みたいに、いろいろ揉まれてきた人が作るべき総合芸術」でした。

■メロディアスな音楽を生み出すコツ

「ひよっこ」*の音楽もごく自然体に、のびのび作曲できました。そういう時が一番いい。考え考え細かくやるより、太い筆で一気にパーンと書き上げる方がうまくいく。もちろんそうはできないこともあるけれど、なるべく勢いを大切に、あまり反省ばかりせず自分をその気にさせて生み出すよう心がけています。

*2017年4月～9月放送 NHK連続テレビ小説の音楽担当。



歌劇「ブラック・ジャック」より

■歌劇「ブラック・ジャック」初演、再演を経て

僕の作ったオペラは、いわゆる「現代音楽」ではないけど、現代を生きる作曲家なわけだから「現代音楽」だという思いもあります。めちゃくちゃ前衛的な音楽とは違うけど、単なる娯楽かという、それもちょっと違う。自分の言葉で言うなら、究極のエンターテインメントは芸術、究極の芸術はエンターテインメント。よくできた芸術はものすごく楽しいし、一方で時代を超えて生き残るエンターテインメントだって古典になり得る。両方を垣間見た自分だからこそ、この作品が生まれたことも事実。売れたものや新しいものが偉いというのではなく、新しい価値観の見本を僕は作りたいのです。

■伝えたいのは「生きている」「いのち」

今までの音楽人生をふりかえった時、外せないのが「舞台音楽」でした。すべての舞台作品が「いのち」を表現しようとしていました。「いのち」は大切だと

か尊いとかという常識的なことではなくて、僕の音楽そのものが「いのち」なんだと。人間は一匹の羽虫すら作れない。女性は人間を生めるけど、じゃあ男はどうするのって。手塚治虫もいのちの正体を書きたくて、最終的には火の鳥やブラック・ジャックで、お客の心の中に「いのち」を描いたんですよね。音楽とは、まさに「いのちを作っている」「産んでいる」「生きている」と感じられる行為なんです。

■「宮川彬良まつり」でやりたいのは詩集のような「ストーリーのない音楽会」

僕が作った舞台には、一つの作品に1・2曲必ず大切な歌があります。普遍的で、「これは自分のための歌か」とみんなに思わせるような歌。それを詩集のように次々と並べて、ミュージカルスターたちがまるで手綱を引っ張っていくように歌う。これが、僕のやりたい音楽会の核心。ストーリーがないこんな音楽会、果たしてどうなるか1回やってみようというのが、自問自答してたどり着いた答えです。気持ちよく、楽しく聞いているんだけど、なぜか泣いてしまう…かも知れない。でも、感じ方はひとそれぞれ。伝わらなくても、届かないその切なさ、その叫びを共有することがすでに美しい。1部はおなかを抱えて笑ってもらおう。2部は涙も分らず泣いてもらおう。そんなイメージです。

■公開「宮川家の伝達式」

実は、もうひとつの裏テーマは「宮川家の伝達式」。このプロジェクトのために、僕と(出演する)子供3人とで知恵と力を合わせたいんです。親として「俺はこれだと思っんだ」



よ」って、目の前で同じ角度から見てほしい。彼らの脳の中のフォトグラフ、印象の中にいろんな大切なことを収めてほしいんです。今、僕が父のことを音声や映像がなくても語れるのと同じようにね。これをお客さんの前で裸になってやりたいというのがもう一つの狙いです。

■「218」のつながりに思うご縁

2018年2月18日。小さい時からいつかこの日が来ると意識していたから、万感の思いです。昔、雑誌で同じ誕生日の芸能人コーナーを見たら、奥村チヨ、越路吹雪！これはすごいと(笑)。歌手の中で一番好きなあの人(奥村)と同じ誕生日なんて妙なシンパシー、運命を感じました。また偶然、越路さんのディレクターが僕の師匠で、彼女が亡くなった後も続いていた誕生会に同席させてもらったり。ご縁ってあるんです、ストーリーって。他にも、ジョントラボルタとかオノ・ヨーコとか…ちょっと怖いくらい魅力的な人たち。一生に一日くらいこんな私事でみんなに迷惑かけるのもいいかなと思って、そうしたらアクトシティの大ホールがたまたま空いていた(笑)。まさに、ご縁ですね。

■音楽の都「浜松」に期待したいこと

ひと言でいうのは難しいけど…大人になっても吹奏楽やったりバンドやったりしてる人が多いよね。そういう意味では全体的なレベルが高いついていう見方もできるし、町ぐるみで意識が高いと感じます。でもそれだけに、道筋やお手本が多すぎて、常識にとらわれすぎてクリエイティブじゃなくなってしまうこともある。もっと音楽が立体になったり、初めて音が生まれたりする瞬間、そういう臨場感のある瞬間をみんなで共有できるといいんじゃないかな。浜松に必要なのはクリエイターだと思うし、地元からそん

な人が生まれるようになればいいですね。浜松出身じゃないけど、そのサンプルが僕なのかなと。モノづくりの街、音楽の街だからこそ本気で関わりたいし、そうなるようになってほしいと願っています。

■大いなる2時間18分をご一緒に！

今までとはまったく違う究極の音楽会にしたい。騙されたと思って来てくださいね(笑)。ご期待には完全に沿えないと思いますが、それこそあなたの期待していたことでしょう。大いなる2時間18分を2018人のお客様と共に過ごしましょう！



宮川 彬良
Akira Miyagawa

1961年2月18日、東京都出身。劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽で作曲家デビュー。その後、数多くのミュージカルなどを手掛け、自らを舞台音楽家と称する。代表作に「ONE MAN'S DREAM」「身毒丸」「ハムレット」など。2004年「マツケンサンバII」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。一方で、演奏活動にも精力的に取り組み、1995～2010年には大阪フィル・ポップス・コンサートの音楽監督・常任指揮者、1998年～「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」の音楽監督、2014年せたがや文化財団スペシャルプロデューサーなどを務め、さまざまなコンサートを日本全国で行っている。『コンサートはショーである』を信条に作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説すべてが自身で為され、幅広い層に親しまれている。2015年歌劇「ブラック・ジャック」を発表。今年のNHK連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽担当ほか多岐に渡るジャンルで活躍している。

2018 宮川彬良まつり

2018.2/18(日) 15:00開演

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定：S席5,000円 A席3,000円
学生席1,000円(大学生以下・当日指定)
- 第1部「あきらくこ」笑いでつづる、宮川家の歴史
- 第2部ミュージカル・アンソロジー「微笑みは涙をこえる」
- 文化事業課：053-451-1151



民族楽器の今

浜松市楽器博物館館長 嶋 和彦

「民族楽器」という言葉があります。それにあてはまる楽器と言えば・・・例えばスコットランドのバグパイプ、アフリカの太鼓、インドネシアのガムランなどが思い浮かぶことでしょう。ではヴァイオリンやトランペットやフルートは？と言えば、「いや、これらは芸術楽器であって、民族楽器ではない！」と答える人が多いでしょう。でも、本当にそうでしょうか？

同じように「民族音楽」という言葉もあります。ガムランは民族音楽であり、ベートーヴェンのシンフォニーや、ショパンのピアノ曲は民族音楽ではなく芸術音楽である、と考えている人も多いことでしょう。果たしてそうでしょうか？

冷静に考えてみましょう。民族音楽とそうでない音楽、民族楽器とそうでない楽器。どうやって区別するのでしょうか？区別の理由は何でしょう？

ヴァイオリンという楽器があります。誰でも知っています。いわゆる西洋クラシック音楽で使う場合はヴァイオリンという名前前で呼びます。そのヴァイオリンを、アイリッシュミュージックで使う時にはヴァイオリンとは呼びません。何と呼ぶか？フィドルです。フィドルを演奏する人はフィドルラーです。ヴァイオリニストではありません。

「屋根の上のヴァイオリン弾き」という有名なミュージカルがあります。その名の通り登場する

楽器はヴァイオリンです。しかし、この物語の原題は「フィドラー・オン・ザ・ルーフ」です。だから登場する楽器はヴァイオリンではなくフィドルなのです。フィドルとヴァイオリン。この2つは全く同じ楽器です。

ヴァイオリンは芸術楽器でフィドルは民族楽器？そんなおかしなことはないでしょう。同じ楽器なのですから。

西洋の音楽学では、日本の伝統音楽は「民族音楽」です。宮廷に伝わる雅楽だって民族音楽です。お琴や三味線や尺八の音楽も民族音楽です。芸術音楽ではないのです。そうすると、それらの楽器も芸術楽器ではなく民族楽器となります。雅楽も尺八やお琴や三味線の音楽もみんな「芸術音楽」なのに。

このように考えると、私たちが区別している芸術音楽、民族音楽、芸術楽器、民族楽器という分け方はおかしな話だな、ということになってきます。

それはさておき、民族楽器に代わる言葉がないのでそのまま使いますと、インドネシアのバリ島の西部に伝わる素晴らしい民族楽器に、「ジェゴグ」という、竹製のシロフォン群があります。木琴ならぬ竹筒琴（ちくとうきん）です。その竹たるや世界最大級、大きいものは直径25センチ以上です。現地の人は土地のお祭りや儀式で演奏します。



楽器博物館展示のジェゴグ。

近年では観光面でも人気の楽器です。演奏する曲はもちろんジェゴグ用の伝承曲で、演奏者である村人の技術と音楽性たるや、とてつもなく素晴らしいものです。

この楽器と音楽に惚れこんだ、西洋音楽の世界



バリ島でのジェゴグ演奏風景



録音風景（ジェゴグ演奏は名古屋のグループ「スカル・サクラ」）

的パーカッショングループがあります。メキシコのグループ「タンブッコ」です。そのリーダーであるリカルド・ガヤルドが2016年にジェゴグとパーカッションのための新曲「カフェ・ジェゴグ」を作曲し、センセーションを巻き起こしました。CDは日本で制作発売されレコード芸術誌の特選盤になりました。楽器博物館は今回このタンブッコと博物館所蔵のジェゴグで博物館コレクションシリーズのCD録音をしました。新曲「Renaissance Jegog Dance」と、2016年作の「The 7 Cycles of Vynth-Thar」です。（発売は来年夏の予定）

民族楽器と呼ばれる楽器と、西洋の打楽器との共演。「民族楽器の今」は国際的な新しい音楽世界を創っている最前線と言えるでしょう。

浜松市楽器博物館

開館時間 9:30-17:00

休館日 毎月第2・4水曜日（祝日の場合は翌日、8月は無休）
12/29-1/3、施設点検等の日

観覧料 大人800円 高校生400円

中学生以下・70歳以上・障害者無料

TEL.053-451-1128 HP <http://www.gakkihaku.jp>



Okura
ACT CITY HOTEL
HAMAMATSU

オークラクトシティホテル浜松
Okura Act City Hotel Hamamatsu



ホテルクラウンパレス浜松
Hotel Crown Palais Hamamatsu



ホテル30階にあるスカイレストラン&ラウンジ「パガニーニ」では、本格的なフランス料理をご用意しております。たとえば、ホテルオークラ開業以来、代々のシェフが受け継いできた料理のひとつである“ダブルコンソメスープ”。季節によって変わる食材を見極め、手間を惜しまず3日間煮込むこだわりの逸品です。パガニーニでご用意する繊細な盛り付けの全ての料理には、旬の食材をはじめ、調理長が厳選するこだわりの食材が使用されています。料理の奥深い味わいと、高層階から眺める幻想的な夜景を一度に…五感で楽しむ贅沢なお時間を、ごゆっくりとお過ごしくださいませ。

[メニューの一例]
コース料理 8,000円～
12月 | Joyeux Noël 15,000円 ※12月25日まで
1月 | Mariage du Japon ～フレンチと和のモダンフレンチ～
10,000円

※写真はイメージです。
※表示価格はすべて税金・サービス料を含む金額です。

スカイレストラン&ラウンジ パガニーニ

浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松30階
レストラン予約受付(9:00～20:00) TEL.053-458-1233
[営業時間] ディナータイム / 17:30～21:00



ソムリエ 西尾 記一



日本料理 四季 花暦ランチ お1人様 2,500円(税込)2名様より ※写真はイメージです。

ホテル二階にある日本料理「四季」で一番人気のランチ「花暦」。旬彩いっぱいの小鉢盛り合せは、食べごたえもあり、いろいろな種類の料理をすこしずつ食べたいアナタを満足させる飽きのこないメニューです。

日本料理は、「味」だけでなく、美しく繊細な「盛り付け」にも注意を払うので、その卓越した技で創り出される絶品は、味覚だけでなく、視覚でも楽しむことができます。落ち着いた空間でゆったりとお食事をお楽しみください。

「花暦 お1人様 2,500円(税込)」※プラス500円で食事をより贅沢に変更することもできます。毎週木曜はハッピーデー。花暦が15%オフでお召上がり頂けます。(但し、祝日を除きます。)



日本料理 四季 料理長
石川 勝弘

日本料理 四季

浜松市中区板屋町110-17 ホテルクラウンパレス浜松2階
TEL.053-452-4651
[営業時間] ランチ / 11:30～14:30 (ラストオーダー 14:00)
ディナー / 17:30～21:30 (ラストオーダー 20:30)

【ドラムセット】

ジャズ、ポップス、ロック、吹奏楽とあらゆるジャンルで活躍するリズムとテンポの要、打楽器。今回はその中から「ドラムセット」についてご紹介します。

そもそも、打楽器とはタンバリンやトライアングル、カスタネットのように叩いて音を出す楽器です。「叩く」という原始的な音の出し方から、弦楽器や管楽器よりも長い歴史を持つとされています。

クラシック音楽で使用されるメインの打楽器で、スネア（小太鼓）、バスドラム（大太鼓）、シンバルがあります。それぞれ単体で演奏されてきた楽器ですが、曲によって使用する楽器が多くなればなるほど人員を増やす必要があり、コンパクトに演奏するには不向きでした。そこで19世紀末、少人数で演奏するために、それらの打楽器が一つに集約され、その際ペダルを使ってバスドラムを叩くことが考案されました。さらにジャズ音楽のなかで、左足を踏んでリズムを取っていたプレイヤーからヒントを得て、“ハイハット”と呼ばれるシンバルを二枚合わせにした楽器が作られました。ハイハットの誕生によってリズムがとりやすくなり、新しいパターンのリズムも生み出されました。こうして現在の「ドラムセット」が出来上がっていきました。

最近では「電子ドラム」と呼ばれる、電子音をスピーカーやヘッドフォンを通して発音させるドラムセットも多く使用されています。ほとんど同じ楽器に思える2つですが、実は全く別の楽器なのです。「ドラムセット」と



ドラムセット



電子ドラムセット

「電子ドラムセット」はピアノとシンセサイザーの關係と似ていて、ドラムセットは細かなタッチの違いでニュアンスの違いを表現しますが、電子ドラムでは、組み込まれた音色を変えることで、一つの太鼓から何パターンもの音色を生み出すことができます。また、ミュージックプレイヤーなどを繋げて音源を流しながら叩ける機種もあり、実用的な機能がつまっています。

テンポとリズムを支え、リアルなドラムサウンドで曲を盛り上げるドラムセットに対し、ステージでさまざまな音色を出して、曲を華やかに彩る電子ドラム。全く違う楽器だからこそ、全く別の良さがあるのです。本来打楽器はリズムだけでなく、その音で自然の音、動物の声など、情景を表現して音楽の中に組み込み、観客に驚きと感動を与えるものでした。ドラムセットがよりテンポとリズムと音を表現するものとしたら、電子ドラムはその情景・驚きが音に込められているように思います。

今後さまざまな演奏を聞く時には、メインのピアノや管楽器、弦楽器だけではなく、ドラムセットの正確なリズムと大迫力のサウンドを、また電子ドラムの表現している音は何なのかを想像しながら、打楽器に耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

[1F 管弦打楽器売場] 松井 拓海



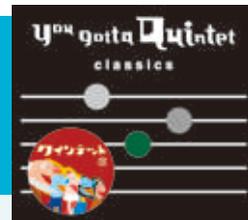
ヤマハミュージックリテイリング 浜松店

10時30分～19時 [定休日] 水曜日
〒430-0933 静岡県浜松市中区鍛冶町321-6
[1F 管弦打楽器売場] TEL.053-454-4077
[2F 楽譜・CD売場] TEL.053-454-4419

店員さんに聞きました！ おすすめCDのご紹介



NHK連続テレビ小説
「ひよっこ」
オリジナル・サウンドトラック
VICL-64804 ¥3,240 (税込)



NHK you gotta Quintet classics
～ゆうがた クインテット
アンサンブル・ベガ+フレンズ
茂森あゆみ+クインテット雑唱団
WPCL-10147 ¥2,484 (税込)

日本中を「マツケンサンバ～」で笑顔にさせた作曲家、劇団四季や東京ディズニーランドのショーの音楽を手掛け夢と希望を与える舞台音楽家、NHK Eテレ「クインテット」でパペットたちと愉快に音楽を伝える人、最近ではNHK連続テレビ小説「ひよっこ」で音楽担当をした人、一方で演奏活動にも精力的に取り組み『コンサートはショーである』を信条に作曲、編曲、指揮、ピアノ演奏、解説すべてを自身で為されている人、この多岐にわたるジャンルで活躍されている人こそ、今回ご紹介する宮川彬良さんです。

2018年2月18日、アクトシティ浜松の大ホールにおいて『宮川彬良まつり』が開催されます。この日は宮川さんのお誕生日という特別な日で数字のロゴがおもしろい「2018年」「2月18日」「2018名」のお客様を迎えて「2時間18分」という「218」尽くしのコンサート内容です。アクトシティは父、泰さんと最期の共演をした場所でもあり、また渾身の作、オペラ「ブラック・ジャック」を初演した大変縁のある会場です。宮川さんもこの「まつり」を夢見ていたそうでご自身のSNSでもこのコンサートへの強い意気込みがうかがえます。そんな宮川さんのマルチな才能の一部を感じられる作品をご紹介します。

はじめに、2017年4月から放送された「ひよっこ」のオリジナル・サウンドトラックです。ドラマの舞台は昭和の高度成長期。茨城の山あいの村に育った有村

架純演じる谷田部みね子が様々な試練を乗り越えていく姿を、バラエティに富んだ楽曲で彩った日本の朝を元気にする一枚です。驚くことに2003年に放送された「てるてる家族」では父、泰さんが音楽担当をされており親子二代にわたる偉業を成し遂げられています。

続いて、2003年から2010年にNHK Eテレで放送されていた「クインテット」の“クラシック編”です。番組はパペットたちとピアノによる五重奏（クインテット）という設定。実際の演奏は8人で演奏しているのにオーケストラのように聴こえる高い技術と深みのある圧倒的な音は宮川さん率いるアンサンブル・ベガによるもの。クラシック定番曲の「エリーゼのために」や「アラベスク」などが宮川さんのシャレたアレンジにより子供から大人のファンまで楽しめる親しみやすい作品です。

クラシックをベースにしながらも常識を覆し、父親譲りの音楽を無限大の輝きで表現する宮川さん。ファンタスティックな世界観を聴きながら『宮川彬良まつり』を心待ちにしたいと思います。

[2F 楽譜・CD売場] 中村 雅子

浜松市内には多くの楽器産業が集まっていますが、高い技術力を持った楽器職人も多くいるのをご存知でしょうか？
本シリーズでは、楽器産業のこれまでを支えそしてこれからの見守める職人たちを紹介し、浜松市のさらなる発展の芽を探ります。

「普及」から「高み」へ

フルートは他の管楽器と比べ、個人事業も含めてメーカー数が多いのが特徴です。当社ではフルートの製作とリペア（修理）を行っていますが、流れ作業ではなく外注作業もないため、一人の職人が月に製作できるのは3～4本。平均単価は100万円です。一方で量産体制と販売網がしっかりしている大企業メーカーでは、1日500本。値段も比較的安価。そういったフルートは初心者や中高生でも手に入りやすく使いやすいので、「普及」という面で役割を果たしています。私たちが製作する高価な楽器は、そこからさらに「高み」を目指すプロプレイヤーに求められるものです。プロプレイヤーが求めているのは伝統的なものであると同時に、最新の楽器。しかも誰が吹いても簡単に音が出るというよりは、自分だけが出せる音、表現したいことが実現できる楽器なのです。サーキットレーサーやプロゴルファーでも同じことですよ。職人も彼らの要求に応えられるだけの技術と知識がないといけません。

社名に込めた思い

当社を創業したのは私を含め3人の仲間。社名を考えたときに、よくあるのは創業者の名前を付ける

株式会社フルートマスターズ 野島洋一さん

木管楽器の中で軽やかな音色で活躍するフルートは、現在では金属で製作され、多数の細かな部品から成っています。今回お話を伺ったのは、フルートの製作・リペアで世界の演奏者からも信頼をおかれている野島洋一さん。楽器製造への情熱や、若手職人への思いが伝わってきました。



リペアの最終確認ではご自身で吹くことも。



フルートを構成する細かな部品。1から作り出すものもある。

ことです。しかし今後世界に通用するフルートを製作していく上で、3人だけで長く続けていくことは難しい。次世代の職人たちに技術や知識、楽器制作に対する思いを引き継いでいかなければいけません。そうして名付けたのが「フルートマスターズ」。職人の集まり、であるということを意識しました。個人ではなく、組織によってこの会社を運営したいという強い思いがあります。現在、創業者のうち自分以外の2人はそれぞれの工房を持って活動していますが、その思いは今も生きています。

若い職人たちへ

リペア技術の習得のためにやってくる職人たちには、無料で研修を行っています。最近では海外から来る人も。研修を受けた技術者はそれぞれの職場に戻り、周囲の人たちに技術を広めてくれています。それが結果的に楽器リペア界の技術の底上げに

つながり、「フルートマスターズ」をより多くの方に知ってもらうことになっています。若い職人たちは技術を身に付けることが最優先のように思っていますが、それは違います。職人は技術だけではなく、プレイヤーとのつながりや信頼関係が大切。世界中のプレイヤーの楽器のメンテナンスを任せられ、誰からも信頼される仕事をしたい、という気持ちを持って取り組むと、見えてくるものがあるし研究する糧にもなります。失敗を恐れずに、それを生かせるようになれば職人としてレベルが上がってくると思います。

私の師匠

く どう しげのり
工藤 重典さん（フルート奏者）

世界的に活躍するトッププレイヤー。楽器開発からリペアまで、さまざまな意見やアドバイスをいただくことで良い信頼関係を築くことができています。



野島洋一 のじまよういち

昭和28年生まれ、浜松市出身。静岡県立浜松商業高等学校入学後、フルートを始める。卒業後、日本楽器製造株式会社（現ヤマハ株式会社）に入社。管楽器試作室にてフルート製造に携わる。15年間、約1,000本のハンドメイドフルートを製作した後、開発部門設計室に転属。フルート、ピッコロの設計を担当。平成4年、ヤマハ株式会社を退社。有限会社フルートマスターズを設立し、現在に至る。これまでにヤマハ吹奏楽団、浜松交響楽団に在籍し、現在は楽友会オーケストラ浜松のメンバー。趣味としてフルート演奏を楽しんでいる。

株式会社フルートマスターズ

本 社 / 湖西市新居町新居 3444-27
TEL.053-594-0260 FAX.053-594-0261
ギャラリー東京 / 東京都新宿区富久町16-10
TEL.03-6273-0387 FAX.03-6273-0387
HP <http://www.flute-masters.com>



リペア、製造のあらゆる工程はすべて手作業。職人の感覚が大事。





菊花と片羽鶴(テッサ) 13,000円～(税込)。



スタッフ押ししの「1ポンドステーキ～ボルチーニソースかけ～」450g 2,980円(税込)、220g 1,580円(税込)。
11月末まで30%オフのキャンペーン実施中(それぞれ2,080円/1,080円)。

日本料理 日の出

千歳町に店を構えて5年目になる『日本料理 日の出』。「手抜きせず、手を掛けすぎずの職人技」を大切にしていると言葉とおり、地元でとれる魚介類や野菜を中心に季節感を盛り込んだ日本料理は、どれも素材の味を活かしつつ、家庭では味わえないプロの技を堪能できるものばかりです。

これからの季節の主役は、何と言ってもふぐ料理。遠州灘産の天然とらふぐはこれからが旬。テッサの鶴盛は優美な鶴が羽ばたく様子が美しく、会食の席を華やかに彩ること間違いなしの一品です。

季節限定の鱧やふぐ、一年中楽しめるスッポンやうなぎなど、浜松名物を満喫できるコースメニューはもちろんのこと、単品料理も豊富にご用意。おもてなしやお祝いのお場だけでなく、ちょっとした家族のお食事など、どなたでもどんなシーンでも満足できるお料理に出会えます。日本料理にぴったりの地酒が多数取り揃っているので、美味しい肴と一緒にいただくのが弾みそうです。

落ち着いたお食事を楽しめるカウンター席や、個室での会食、宴会にも対応。お座敷はテーブル席・座卓席どちらも可能なので、幅広い年代の方の集まりにご利用いただけます。

高級食材だけでなくいろいろなメニューがあるので、気軽にふらりと立ち寄るのも大歓迎。物腰やわらかな親方が作る職人の技を、是非味わってみてください。



親方の岩井 比呂志さん

若い頃は多趣味だったという岩井さん。ベースを担当し、ビートルズなどの曲をカバーしていたそう。当時のバンド仲間とは今でも良い関係が続いているとのこと。多忙な現在の楽しみはツーリング。「新車の大型バイクで、まだ行った事がない新潟で郷土料理や地酒を味わいたいですね」と穏やかな笑顔で語ってくださいました。



日本料理 日の出

浜松市中区千歳町19-18
TEL.053-458-5008
【営業時間】
11:00～14:00
(昼食のみ前日22:00まで受付の予約制)
17:00～23:00
【定休日】不定休

バルイタリアーノ 12カ月

今年7月にオープンしたばかりの「バルイタリアーノ12カ月」は、“気軽に、手ごろな価格でイタリアンを”をコンセプトに、居酒屋感覚で楽しめるお店です。店内は落ち着いた照明とテラコッタタイルで装飾され可愛らしい雰囲気。赤と白のパラソルはイタリアのオープンカフェをイメージしたそう。

東京のイタリア料理店で経験を積んだシェフが在籍による本格的なイタリアンが自慢。メニューは色鮮やかな盛り付けを意識したイタリアンサラダをはじめ、お酒のおつまみにぴったりなタパスやアンティパストが多彩に用意されています。友人同士やグループで少しずつ頼んでみるのも良いですね。コース料理は2,500円から3,500円まであり、前菜からデザートまで楽しめて大満足です。どのコースにも付いているガルチーニ茸のソースが絶品のステーキは、食べ応え十分。イタリアンと相性が良いワインも手ごろな価格でいただくことができます。

今後は若い世代の方々に足を運んでほしい、ということで、新メニューも考案中とのこと。肴町の大人な雰囲気の中で気軽にイタリアンを。仲間や友人たちを誘って訪れたいお店です。



スタッフの大場和仁さん

美味しいものを食べることが好き、という大場さんはお休みの日も少し足をのびしてレストラン探し。最近見つけたおすすめのお店を聞いてみてはいかがでしょうか。「世代はミステルです」というだけあり、学生時代にギターを少し、とのこと。楽曲カバーだけでなくオリジナル曲まであったそう。どんな曲か聴いてみたいですね。



バルイタリアーノ 12カ月

浜松市中区肴町314-25
クラウンビル1階
TEL.053-455-0632
【営業時間】
17:00～24:00 (L.O. 23:00)
【定休日】月曜日

2017.12 ▶ 2018.5

HCFオンラインショップ

http://www.hcf.or.jp/

HCFオンラインショップをぜひご利用ください。
様々な公演のチケットが、24時間オンラインで購入できます。

- ★システム利用料0円・発券手数料0円
 - ★送料などの実費はかかりませんが、その他の手数料は一切なし。
 - ★クレジット決済 / 送料315円(全国一律)
 - ★代金引換 / 送料315円(全国一律) + 代引手数料315円(一律)
 - ★スマートフォン・タブレットからもアクセスできます。
 - ★直接アクトシティチケットセンター窓口にての購入(現金のみ)もできます。
- 詳しくはHPをご覧ください。http://hcf.or.jp/

特別収蔵展

物心一如の俳人 原田濱人の心を紡いで
～濱人・喬・あきゑ 三人展～

9.10(日)～12.10(日) 9:00～17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 入場無料
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



木下恵介生誕記念 特別上映会

12.3(日) 「陸軍」10:00～/「二十四の瞳」14:00～

- 木下恵介記念館
- 入場料:各100円
※10月15日より木下恵介記念館にて販売
- 木下恵介監督の誕生日(1912年、大正元年12月5日)を記念して、映画を2作品上映します。
- 木下恵介記念館 TEL.053-457-3450

楽器博物館講座

楽器の中の聖と俗「音楽に息づく民族のプライド」(全4回)
第1回「I. 中央アジアの楽士たち ウズベキスタン」

12.4(月) 19:00

- 楽器博物館 展示室
- 全席自由:各回1,000円
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長)
- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128

ACTS Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2017
～世界の名演奏家たち～Vol.4

ゲヴァントハウス弦楽四重奏団

12.5(火) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:
S席6,000円 A席5,000円
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)

※未就学児の入場不可

- 曲目:モーツァルト /
弦楽四重奏曲 第21番 二長調 K.575「プロシャ王第1番」
シューベルト /
弦楽四重奏曲 第12番 ハ短調 D.703《四重奏断章》ほか

●文化事業課 TEL.053-451-1114

●特別協賛:オリックスグループ

50周年記念 アクト・ワンコインコンサート2017
高木綾子(フルート)

12.7(木) 11:30(12:30終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:500円(チケットレス)
- ※当日会場入口にて入場料をお支払いください。
- ※満席となった際は、入場をご遠慮いただく場合がございますので予めご了承ください。

※未就学児の入場不可

- 曲目:グルック/精霊の踊り
サン=サーンス/ロマンス
J.S.バッハ/シャコンヌ(BWV1004より) ほか

●文化事業課 TEL.053-451-1114

サウンドデザインフェスティバル
in浜松2017

12.9(土) 10(日) 10:00-17:00(入場は閉館の30分前まで)

- アクトシティ浜松 展示イベントホール
- 入場無料
- 音と人との新たな関係を創造するサウンドデザインの祭典。「音+α」が生み出す新たな可能性と出会い、サウンドデザインの世界を体感する2日間。
(きく～ライブイベント/つくる～ワークショップ/みる・さわる～展示作品/さわる・あそぶ～体験コーナーなど)
- ユネスコ音楽都市はままつ推進事業実行委員会事務局 souzoutoshi@city.hamamatsu.shizuoka.jp
(浜松市市民部 創造都市・文化振興課)
www.hcf.or.jp/sdf2017/
TEL.053-457-2301

子ども音楽フェスティバル

12.10(日) 14:30

- 浜北文化センター 大ホール
- 入場無料
- 文化事業課
TEL.053-451-1150



New Artist Series アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.111
「辻 彩奈 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」

12.10(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)

※未就学児の入場不可

- 曲目:
J.S.バッハ/無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第1番 短調 BWV1001 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- 協賛:HAMANA
浜名新船造株式会社



©大杉隼平

特別収蔵展

敬愛の作家・藤枝静男 生誕110年

私小説を越えた「私」の求道者「藤枝静男」その文学と人生

12.17(日)～4.15(日) 9:00～17:00

- 浜松文芸館(クリエート浜松5階)
- 入場無料
- 浜松文芸館 TEL.053-453-3933



楽器博物館講座

楽器の中の聖と俗「音楽に息づく民族のプライド」(全4回)
第2回「I. 中央アジアの楽士たち トルクメニスタン」

12.18(月) 19:00

- 楽器博物館 展示室 ●全席自由:各回1,000円
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長)
- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128

「カルメン故郷へ帰る」出張上映会

12.21(木) ①10:30～ ②14:30～

- 浜北文化センター2階 多目的室
- 木下恵介記念館との共催事業
- 無料(要整理券)
- 申込:浜北文化センター事務室にて
11月20日(月)13:30～整理券配布(1人1枚限り)
- 定員:各回50人
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

ゆるやかコンサート冬

12.24(日) 10:30～11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 対象:赤ちゃん、未就学児をお連れの方。大人のみでも構いません。
- 高校生以上 1人500円
子ども無料(同伴の0才～中学生)
- 出演:田上知穂(ソプラノ)
平尾憲嗣(テノール)
平尾優理子(ピアノ)
- 浜北文化センター
TEL.053-586-5151



MIBUワークショップ発表公演 Vol.15

12.24(日) モダンダンス13:30～/ミュージカル15:50～

- 天竜壬生ホール
- 一般700円 高校生以下500円(1公演につき)
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



佐藤典子舞踊生活70周年イベント

「アクトの丘にシヨパンを舞う」

12.26(火) 18:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 指定席:3,000円 自由席:2,000円
- 佐藤典子同門会
TEL.0538-34-1607



楽器博物館講座

楽器の中の聖と俗「音楽に息づく民族のプライド」(全4回)
第3回「II.ピレネー山脈の少数民族 プロヴァンス地方」

1.15(月) 19:00

- 楽器博物館 展示室 ●全席自由:各回1,000円
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長)
- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128



妊婦とお母さんのための

ゆるやかコンサート in天竜 Vol.2

1.18(木) 10:30～11:20

- 天竜壬生ホール
- 大人ひとりにつき500円
- 出演:松本真智子(トランペット)
新開あき子(ピアノ)
河辺智美(パーカッション)
- 天竜壬生ホール
TEL.053-922-3301



シルク・ドゥラ・シンフォニー

1.19(金) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席・A席 **完売**
B席5,500円
学生1,000円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
チャイコフスキー/白鳥の湖
ビゼー/カルメン組曲
ハチャトゥリアン/「仮面舞踏会」組曲
オッフェンバック/天国と地獄 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114
- ア オ 小**
- ※特集1(P4~7)もご覧ください。



クリエートの冬まつり

1.20(土) 11:00~16:00 1.21(日) 10:00~16:00

- クリエート浜松
- 入場無料
- クリエート浜松利用団体の日頃の練習・活動の成果発表の場として演芸・展示の発表会を開催。ロビーや中庭での飲食物・物品販売、毎年恒例の餅投げもあります。
- ギャラリー展示:1/19(金)~21(日)10:00~16:00
- クリエート浜松 TEL.053-453-5311



第9回浜松市民バンドフェスティバル

1.21(日) 13:00

- 浜北文化センター 大ホール
- 前売500円 当日700円(小学生以下無料 全席自由)
- 出演:浜松市民バンド協議会所属の市民バンド 12団体
アザレア・ママズ・アンサンブル、引佐吹奏楽団、サザン★クロス
積志ウィンドアンサンブル、ドルチェウィンドオーケストラ
浜北吹奏楽団、浜商OBOG吹奏楽団、浜松ウィンドオーケストラ
浜松シティプラス、浜松ブラスバンド、ハンドレッドアーズ
三ヶ日ウィンドオーケストラ
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

「二十四の瞳」出張上映会

1.21(日) 10:30

- 天竜壬生ホール 会議室
- 無料(要TEL申込)
- 定員:50人
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

 ACTS Premium Series
 アクト・プレミアム・シリーズ2017
 ~世界の名演奏家たち~Vol.5
 チョ・ソンジン(ピアノ)

1.23(火) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:
S席5,000円
A席4,000円
学生席1,000円(24歳以下・当日指定)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
ベートーヴェン/
ピアノ・ソナタ 第8番 八短調 Op.13「悲愴」
ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ 第30番 小長調 Op.109
ドビュッシー/「映像」第2集
ショパン/ピアノ・ソナタ 第3番 短調 Op.58
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ 小**
- 特別協賛:オリックスグループ
- ※特集2(P8~11)もご覧ください。



©Harald Hoffmann/DG

MIBUニューイヤーコンサート2018

1.28(日) 14:00

- 天竜壬生ホール
- 大人1,000円 高校生以下500円
- 出演:天竜楽友吹奏楽団
- 賛助出演:浜松トランペットコアー
- ゲスト:カール・ヤイトラー
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



楽器博物館講座

 楽器の中の聖と俗「音楽に息づく民族のプライド」(全4回)
 第4回「II.ピレネー山脈の少数民族 南仏バスク地方」

1.29(月) 19:00

- 楽器博物館 展示室 ●全席自由:各回1,000円
- 講師:西岡信雄(大阪音楽大学名誉教授・浜松市楽器博物館名誉館長)
- 浜松市楽器博物館 TEL.053-451-1128



第8回はままつグローバルフェア

2.11(日) 10:00~17:00

- クリエート浜松
- 入場無料(有料プログラムあり)
- アジア・アフリカの雑貨やアクセサリーなどのフェアトレードショップ・世界のさまざまな料理の出店があります。ダンス、アート、世界を学ぶステージ、国際理解ワークショップなど、子どもから大人まで五感で世界を体感し、学べるイベントのほか、今年にはイラン出身女優サヘル・ローズさんによる講演会もあります。
- クリエート浜松 TEL.053-453-5311



みぶ絵手紙展

2.11(日)~25(日) 各日9:00~21:00(最終日のみ~15:00)

- 天竜壬生ホール 展示ギャラリー2
- 入場無料
- 絵手紙無料体験教室も開催
2/25(日)10:00~13:00
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301



第17回こども音楽鑑賞教室

「こんにちはオーケストラ」

2.14(水) 15(木) 10:30/13:30

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:500円 ※未就学児の入場不可
- 浜松市内の全小学5年生がオーケストラの演奏を聴く鑑賞事業です。2~4階バルコニー席を一般開放・販売いたします。
- 指揮:曾我大介
- 演奏:浜松フィルハーモニー管弦楽団
- 第1部:「オーケストラへようこそ」
L.バーンスタイン/「キャンディード」序曲
B.スメタナ/連作交響詩「わが祖国」より(モルダウ)
- 第2部:「オーケストラと一緒に」
浜松市歌、E.エルガー/行進曲「威風堂々」第1番
- 第3部:「オーケストラを楽しもう」
A.ハチャトゥリアン/バレエ「ガイユ」より(剣の舞)
J.シベリウス/交響詩「フィンランディア」
K.デバルト/パイレーツ・オブ・カリビアン
菅野よう子/組曲「天虎」より(虎の女)
- 文化事業課 TEL.053-451-1150 **ア オ 小**



ステージ演奏体験Vol.3

2.17(土) 10:00~20:30 1枠45分

- 天竜壬生ホール
- 参加費:1,000円
- 天竜壬生ホール TEL.053-922-3301

2018宮川彬良まつり

2.18(日) 17:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席:5,000円
A席:3,000円
学生:1,000円
(大学生以下・当日指定)
- ※未就学児入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1151
- ア オ 小**
- ※特集3(P12~15)もご覧ください。



©Kazuyuki Takahashi

オルガンミニコンサートNo.87

2.22(木) 12:30(12:50終演予定)

- アクトシティ浜松 中ホール
- 入場無料 ※小さなお子様も入場できます
- オルガン:久野将健
- 文化事業課 TEL.053-451-1151

 New Artist Series
 アクト・ニューアーティスト・シリーズNo.112
 「岡本拓也 ギター・リサイタル」

2.25(日) 15:00

- アクトシティ浜松 音楽工房ホール
- 全席自由:
一般2,500円
学生1,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
J.S.バッハ:主よ人の望みの喜びよ BWV147
タレガ:アルハンブラの思い出 ほか
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ**
- 協賛: **HAMANA**
浜名製包造株式会社



©Andrej Grlic

ジュニアオーケストラ浜松・ジュニアクワイア浜松
スプリングコンサート2018

3.11(日) 14:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:500円
- 第1部:ジュニアクワイア浜松
「群青」「雨ニモマケズ」他
- 第2部:ジュニアオーケストラ浜松
メンデルスゾーン/組曲「真夏の夜の夢」より 他
- 文化事業課 TEL.053-451-1151 **ア オ**



浜松吹奏楽大会2018

3.24(土) 14:00

■第6回全国中学生交流コンサート

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席自由:一般1,000円
高校生以下入場無料(要整理券)
- ※未就学児入場不可
- ア オ** ※高校生以下整理券は**ア**のみ



3.24(土) 10:00~16:30 ※雨天中止

■プロムナードコンサート

- キララ(JR浜松駅北口広場)

3.25(日) 10:00

■第30回全日本高等学校選抜吹奏楽大会

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席自由:2,800円
- ※未就学児入場不可
- 文化事業課 TEL.053-451-1151 **ア オ**



ゆるやかコンサート特別編
「親子でJAZZ LIVE」

3.25(日) 10:30~11:20

- 浜北文化センター 小ホール
- 対象:赤ちゃん、未就学児をお連れの保護者の方。
大人のみでも構いません。
- 高校生以上 1人500円 同伴の0才~中学生無料
- 出演:松本真智子(トランペット)、宮田道枝(ピアノ)
磯谷祐介(ベース)、辻恵里伽(ドラム)
- 浜北文化センター TEL.053-586-5151

Premium Series アクト・プレミアム・シリーズ2018
~世界の名演奏家たち~Vol.6
マリア・ジョアン・ピリス(ピアノ)

4.16(月) 19:00

- アクトシティ浜松 中ホール
- 全席指定:
S席9,000円 A席7,500円
B席6,000円
学生B席3,000円(24歳以下)
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
シューベルト/4つの即興曲 D.935(Op.142) [ほか]
- 文化事業課 TEL.053-451-1114 **ア オ**
- 特別協賛:オリックスグループ



©Felix Broede and Deutsche Grammophon

佐渡裕指揮 トーンキョウストラー管弦楽団
日本ツアー2018

5.23(水) 19:00

- アクトシティ浜松 大ホール
- 全席指定:
S席18,000円 A席15,000円
B席12,000円 C席9,000円
- ※未就学児の入場不可
- 曲目:
バーンスタイン/交響組曲「波止場」
バーンスタイン/
ウェスト・サイド・ストーリーより
《シンフォニック・ダンス》
ショスタコヴィチ/交響曲 第5番
- 文化事業課
TEL.053-451-1114
- ア オ**



©Peter Rigaud



©Werner Kmettitsch

アクトシティ浜松友の会
ビバーチェクラブ 会員募集中!!

- ◎電話、インターネットでチケット予約(お席を選ぶことができます)
- 特 ◎一般発売前にチケットの優先販売
- 典 ◎財団の指定公演は、会員お1人様1枚に限りチケット代10%割引
- ◎文化情報誌及び公演チラシの郵送(ほか)

お問い合わせ先 TEL.053-451-1115 vivace@actcity.jp

チケット販売場所 **ア**アクトシティチケットセンター **オ**HCFオンラインショップ <http://www.hcf.or.jp/> **オ**チケットぴあ
この情報は2017年11月14日現在のものです。都合により日時、金額など変更になる場合もございますのであらかじめご了承ください。

浜松版アーツカウンシルが始まります

アーツカウンシルって何?

1946年イギリスで生まれ、その後ヨーロッパなどに広がった「各種芸術文化事業への助成を中心とした支援を行う機関」のこと。専門スタッフがノウハウを蓄積し、「行政・支援団体とは一定の距離をもって、透明性の高い運営により助成や活動支援を行うことが目的です。日本においては、平成27年5月に閣議決定された「文化芸術の振興に関する基本的な方針」で、文化芸術立国の姿として以下の4つの例を挙げています。

- あらゆる人が鑑賞や創作に参加できる機会がある
- 2020年東京大会を契機に全国で文化プログラムが展開される
- 地域の文化芸術の魅力を発信している
- 文化芸術関係の新たな雇用・産業が創出されている

これを実現させるため、アーツカウンシル制度を導入し、行政・企業・文化団体などの様々な組織が協働し、人材の育成や確保、新たな文化の創造、そしてその文化を国内外へ発信していくことが目標とされています。

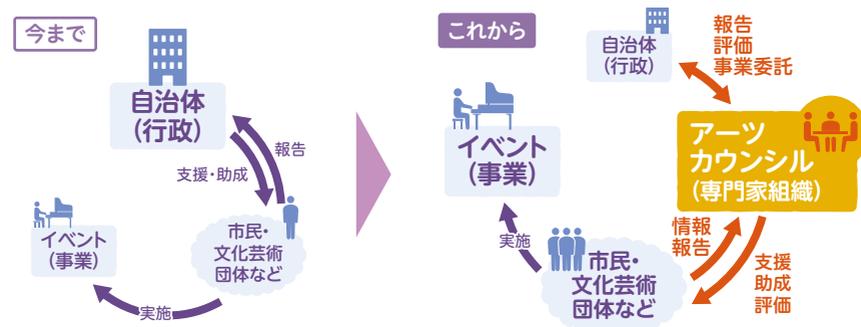
浜松版「アーツカウンシル」とは?

まずは、平成29年度中にアーツカウンシル組織を立ち上げ、専門の人材としてPD(プログラムディレクター)、PO(プログラムオフィサー)を雇用します。まずは助成制度を確立し、文化団体の活動を助成。その後、文化団体の活動支援、浜松における文化芸術の状況調査や研究、人材育成プログラムや文化創出プログラムなどを実施していきます。なお、アーツカウンシルは浜松市が設置、(公財)浜松市文化振興財団が運営を行っていく予定です。

何が変わっていくの?

アーツカウンシルが機能すると、「文化団体自らが主体となって文化事業を開催する機会が多くなります」。また、各団体の活動・事業実施への助言や助成等の支援により「団体が組織として充実し活動が活発になる」ことが期待されます。そしてアーツカウンシルをプラットフォームとして情報が集まり、「国内外へ情報発信する効率が高まり」「浜松ならではの文化の発信」も可能となります。

助成に関しては、専門家による審査・評価が行われるため、「公平性・透明性の高い助成プログラムになる」と考えられます。



浜松の文化はこれから...

アーツカウンシル制度の充実により、今後は市民主体の文化事業、特に浜松という地域性を活かした文化活動が現在より活発になると期待されています。ユネスコ創造都市ネットワーク音楽分野に加盟したこととの相乗効果により、創造的・独創的な文化活動が行われていく事でしょう。

舞台袖

第一線で活躍するプロの演奏家と小学校コンサートへ赴いた時のこと。「どうしてそんなにうまくいったの?」という質問に「楽器を始めて40年以上たつけど、もっともっとうまくなりたいと思って努力している。君の質問も僕にはすごく勉強になるよ。」とお言葉。実力に裏打ちされてもお、失わないその向上心。大先輩が子供たちに見せたプロの熱い思いにハッとさせられました。



アクトシティ浜松(施設のご予約)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1111 FAX.053-451-1123

アクトシティ浜松(事業のご案内)

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1114 FAX.053-451-1123

浜松市アクトシティ音楽院

〒430-7790 浜松市中区板屋町111-1
TEL.053-451-1150 FAX.053-451-1123



浜松市楽器博物館

〒430-7790
浜松市中区中央3-9-1
TEL.053-451-1128
FAX.053-451-1129



浜松文芸館

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
クリエート浜松4・5階
TEL.053-453-3933
FAX.053-453-3933



クリエート浜松

〒430-0916
浜松市中区早馬町2-1
TEL.053-453-5311
FAX.053-453-5379



**浜松市旧浜松銀行協会
(木下恵介記念館)**

〒432-8025
浜松市中区栄町3-1
TEL.053-457-3450
FAX.053-457-3450



浜松科学館

〒430-0923
浜松市中区北寺島町256-3
TEL.053-454-0178
FAX.053-454-0184



浜松市浜北文化センター

〒434-0038
浜松市浜北区貴布祿291-1
TEL.053-586-5151
FAX.053-586-5153



浜松こども館

〒430-0933
浜松市中区鍛冶町100-1
TEL.053-450-9111
FAX.053-458-0300



天竜壬生ホール

〒431-3314
浜松市天竜区二俣町二俣20-2
TEL.053-922-3301
FAX.053-922-3300